

2026年度(2027年3月期) 第1四半期 決算説明会

2026年8月5日
セイコーエプソン株式会社

2026年度第1四半期

- 2025年度第4四半期から需要環境に大きな変化はなく堅調に推移したことに加えて、為替のプラス影響もありプレジジョンイノベーションを中心に各セグメントで前年同期から増収
- 事業利益は、メモリなどの部材費の高騰影響を受けたほか、影響が少なかった前年同期と比較して米国関税費用が増加したものの、為替のプラス影響により増益

2026年度通期業績予想

- **売上収益15,100億円、事業利益1,050億円に上方修正**
- 第1四半期実績を踏まえプレジジョンイノベーションの販売計画を上方修正
- 原油高、メモリ価格高騰影響は前回予想より拡大する前提に見直し、価格対応や米国関税還付を織り込み、事業利益も上方修正

株主還元

- **300億円を上限とする自己株式取得を実施**
- 配当は、前回予想から変わらず、前年度より6円増配の1株当たり年間80円

- 本日のご説明のポイントです。
- 第1四半期は、2025年度第4四半期から需要環境に大きな変化はなく堅調に推移したことに加えて、為替のプラス影響もありプレジジョンイノベーションを中心に各セグメントで前年同期から増収となりました。
- 事業利益は、メモリなどの部材費の高騰影響を受けたほか、影響が少なかった前年同期と比較して米国関税費用が増加しましたが、為替のプラス影響により増益となりました。
- 通期予想は、売上収益1兆5,100億円、事業利益1,050億円に上方修正します。
- 第1四半期の実績を踏まえプレジジョンイノベーションを中心に販売計画を上方修正しました。
- 事業利益は、原油高やメモリ価格高騰影響が拡大する前提に見直したものの、価格対応や米国関税還付を織り込み、事業利益も上方修正しました。
- 株主還元は、中期経営計画Phase 1の3年間で累計800億円の自己株式取得を予定しています。今年度は300億円を上限とする自己株式取得を実施します。
- なお、配当は、前回予想から変わらず、前年度より6円増配の1株当たり年間80円です。

(億円)

		第1四半期			通期				
		2025年度 実績	2026年度 実績	対前年同期	2025年度 実績	2026年度 前回予想	2026年度 今回予想	対前年同期	対前回予想
プレゼンションイノベーション	売上収益	403	498	+23.5%	1,675	1,820	1,950	+16.4%	+7.1%
	セグメント利益	96	155	+62.1%	440	500	550	+24.9%	+10.0%
インダストリアル&ロボティクス	売上収益	696	820	+17.9%	2,978	3,100	3,250	+9.1%	+4.8%
	セグメント利益	38	55	+44.1%	202	240	310	+53.4%	+29.2%
オフィス・ホームプリンティング	売上収益	1,488	1,670	+12.3%	6,925	6,980	7,120	+2.8%	+2.0%
	セグメント利益	146	114	-21.7%	612	560	580	-5.2%	+3.6%
ビジュアル&ライフスタイル	売上収益	627	672	+7.2%	2,509	2,520	2,710	+8.0%	+7.5%
	セグメント利益	60	42	-30.1%	169	200	220	+30.0%	+10.0%
連結合計	売上収益	3,209	3,672	+14.4%	14,133	14,500	15,100	+6.8%	+4.1%
	事業利益	198	221	+12.0%	838	900	1,050	+25.3%	+16.7%

➤ 第1四半期実績ならびに2026年度通期業績予想は、ご覧のとおりです。

2026年度第1四半期実績

2026年度通期業績予想・株主還元



© SEIKO EPSON CORPORATION 2026

		2025年度		2026年度		対前年同期	
(億円)		Q1実績	%	Q1実績	%	増減額	増減率
売上収益		3,209		3,672		+464	+14.4%
事業利益		198	6.2%	221	6.0%	+24	+12.0%
営業利益		141	4.4%	206	5.6%	+65	+45.7%
税引前利益		129	4.0%	207	5.6%	+78	+60.4%
親会社の所有者に帰属する 当期利益		66	2.1%	130	3.5%	+64	+96.4%
EPS*1(円)		20.64		40.52			
為替レート (円、指数)	USD	¥144.49		¥159.38			
	EUR	¥163.76		¥185.33			
	その他通貨*2	-		113			

- 売上収益
 - ✓ 競争力のある製品で着実に需要を取り込み、プレジジョンイノベーションを中心に販売を拡大。円安によるプラス影響もあったことで増収
- 事業利益
 - ✓ メモリなどの部材費の高騰影響や米国関税費用の増加があったものの、為替のプラス影響により増益
- 営業利益以下
 - ✓ 前年同期は為替差損を計上
 - ✓ 当四半期は為替差益を計上。欧州の子会社における構造改革費用などを計上

為替影響額	USD	EUR	その他通貨	総計
売上収益	+122	+63	+142	+327
事業利益	-24	+41	+75	+93

^{*1} EPS：基本的1株当たり当期利益
^{*2} その他通貨について、当期と前期レートでの円換算合計金額を比較し、前年同期を100として指数で表示

© SEIKO EPSON CORPORATION 2026

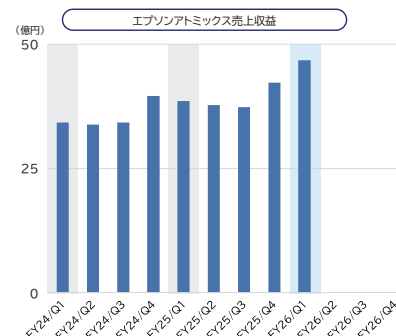
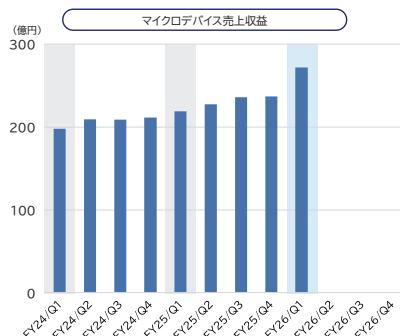
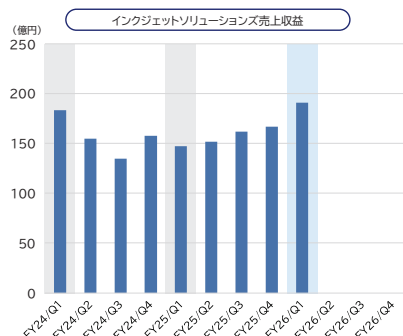
4

- それでは、第1四半期の実績をご説明します。
- 前年同期に対して、売上収益は 464億円増収の 3,672億円、事業利益は 24億円増益の 221億円となりました。
- 当四半期は、競争力のある製品で着実に需要を取り込み、プレジジョンイノベーションを中心に販売を拡大しました。加えて、円安によるプラス影響もあったことで増収となりました。
- 事業利益は、メモリなどの部材費の高騰影響を受けたほか、影響が少なかった前年同期と比較して米国関税費用が増加しましたが、為替のプラス影響により増益となりました。
- 営業利益は 65億円増益の206億円となりました。前年同期は為替差損を計上した一方で、当四半期は円安進行による為替差益を計上しました。また、欧州の子会社における構造改革費用などを計上しました。
- 税引前利益は 207億円、四半期利益は 130億円となりました。
- なお、社内計画に対しては、売上収益、事業利益ともに上回りました。

プレジジョンイノベーション	2025年度 Q1実績	2026年度 Q1実績	増減額	内為替 影響額	増減率
売上収益	403	498	+95	+40	+23.5%
インクジェットソリューションズ	147	191	+44		+29.7%
マイクロデバイス	219	272	+53		+24.2%
エプソンアトミックス	39	47	+8		+21.3%
事業間売上収益	-2	-12	-		-
セグメント利益	96	155	+60	+26	+62.1%
セグメント利益率	23.8%	31.2%			

・プレジジョンイノベーションは、前年同期に対して増収増益

- ・インクジェットソリューションズ: 中国での案件獲得やその他地域での新規開拓が進む
- ・マイクロデバイス: 産業向けやデータセンター向けに強い需要が継続する中で積極的な販売活動が成果につながり、水晶デバイスを中心に売上が大きく伸長
- ・エプソンアトミックス: 高機能金属粉末の旺盛な需要に対して増産対応し、販売を伸ばす



© SEIKO EPSON CORPORATION 2026

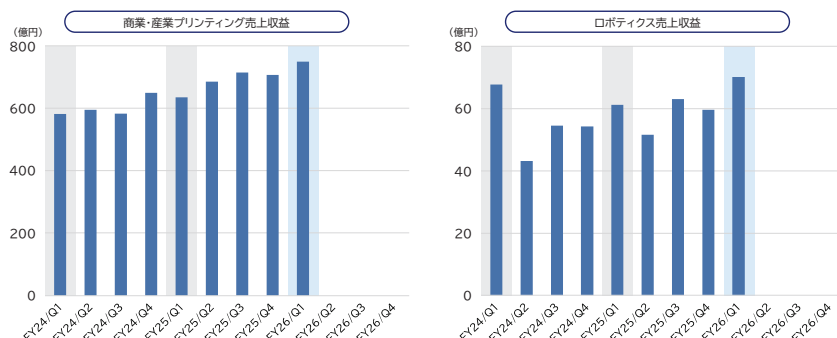
5

- セグメント別にご説明します。
- プレジジョンイノベーションの売上収益は、前年同期に対して 95億円増収の 498億円となりました。
- インクジェットソリューションズは、中国での案件獲得やその他地域での新規開拓が進みました。
- マイクロデバイスは、産業向けやデータセンター向けに強い需要が継続する中で積極的な販売活動が成果につながり、水晶デバイスを中心に売上が大きく伸長しました。
- エプソンアトミックスは、高機能金属粉末の旺盛な需要に対して増産対応し、販売を伸ばしました。
- これらの結果、セグメント利益は 60億円増益の 155億円となりました。
- 社内計画に対しては、想定以上の強い需要により、売上収益・セグメント利益ともに上回りました。

		(億円)			
インダストリアル&ロボティクス	2025年度 Q1実績	2026年度 Q1実績	増減額	内為替 影響額	増減率
売上収益	696	820	+124	+80	+17.9%
商業・産業プリンティング	635	750	+115		+18.1%
ロボティクス	61	70	+9		+14.7%
セグメント利益	38	55	+17	+25	+44.1%
セグメント利益率	5.5%	6.7%			

・インダストリアル&ロボティクスは、前年同期に対して増収増益

- ・商業・産業プリンティング: フォト・サイネージ・ラベルの販売が増加
- ・ロボティクス: 着実に案件を獲得



© SEIKO EPSON CORPORATION 2026

6

- インダストリアル&ロボティクスの売上収益は、前年同期に対して 124億円増収の 820億円となりました。
- 商業・産業プリンティングは、フォト・サイネージ・ラベルの販売が増加しました。
- ロボティクスは、着実に案件を獲得しました。
- セグメント利益は、17億円増益の 55億円となりました。
- 社内計画に対しては、売上収益は上回ったものの、セグメント利益は計画並みとなりました。

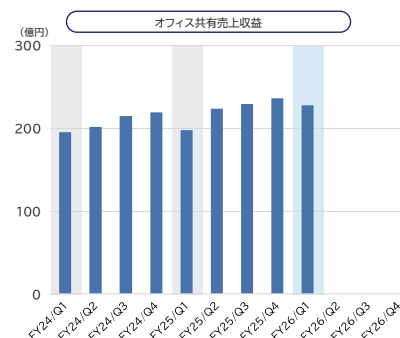
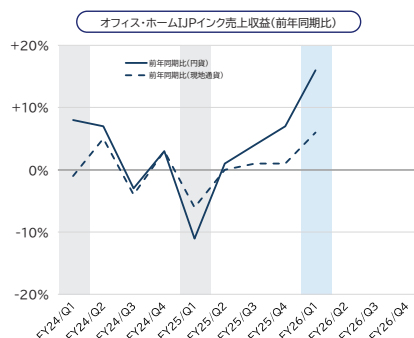
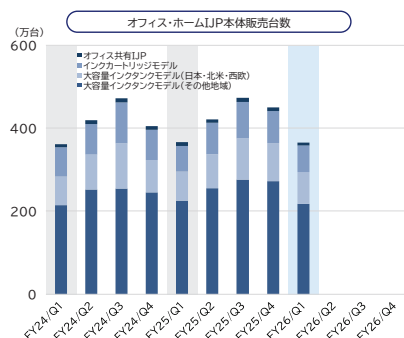
(億円)					
オフィス・ホームプリンティング	2025年度 Q1実績	2026年度 Q1実績	増減額	内為替 影響額	増減率
売上収益	1,488	1,670	+182	+153	+12.3%
SOHO・ホーム*1	1,162	1,316	+154		+13.3%
オフィス共有*2	198	228	+30		+15.1%
オフィス・ホームその他*3	128	126	-2		-1.2%
セグメント利益	146	114	-32	+37	-21.7%
セグメント利益率	9.8%	6.9%			

*1 L/Cモデル・大容量インクタンクモデル本体、インクなど *2 オフィス向けL/Cモデル・RIPS-LJ本体、インクなど *3 スキャナー、LP、小型ラベルプリンターなど

・オフィス・ホームプリンティングは、前年同期に対して増収。米国関税費用の増加に加え、部材費や輸送費の上昇、部品調達での一時的な問題の発生に伴う在庫減少影響により減益

・SOHO・ホーム：本体の販売台数は前年同期並み。インクは価格改定影響により増収

・オフィス共有：本体・インクの販売が伸長



© SEIKO EPSON CORPORATION 2026

7

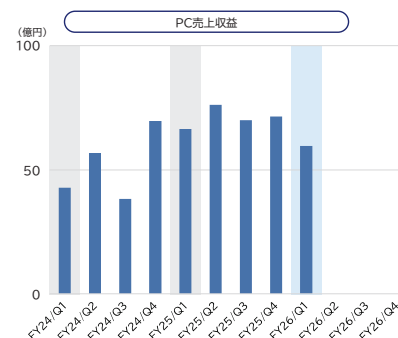
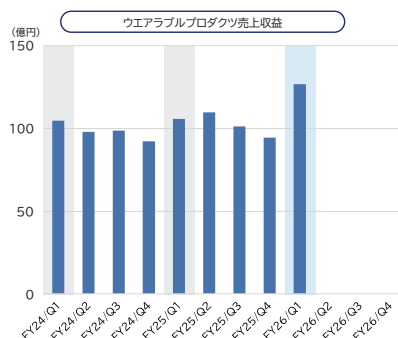
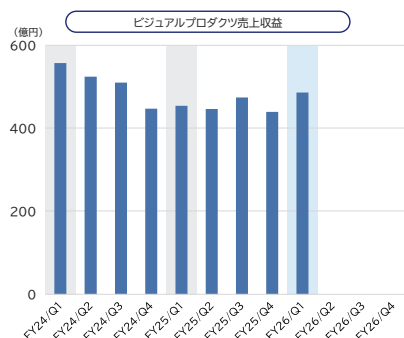
- オフィス・ホームプリンティングの売上収益は、前年同期に対して 182億円増収の1,670億円となりました。
- SOHO・ホームの本体販売台数は、インクカートリッジモデル・大容量インクタンクモデルともに前年同期並みとなりました。インクは、価格改定の影響などにより、増収となりました。
- オフィス共有は、本体稼働台数の拡大に伴いインクの販売が増加したほか、案件獲得などがありました。
- セグメント利益は、米国関税費用の増加に加え、部材費や輸送費の上昇、部品調達での一時的な問題の発生に伴う在庫減少影響により32億円減益の114億円となりました。
- 社内計画に対しては、売上収益は計画並みだったものの、セグメント利益は下回りました。

(億円)					
ビジュアル&ライフスタイル	2025年度 Q1実績	2026年度 Q1実績	増減額	内為替 影響額	増減率
売上収益	627	672	+45	+53	+7.2%
ビジュアルプロダクツ	455	486	+31		+6.9%
ウェアラブルプロダクツ	106	127	+21		+20.0%
PC	66	60	-7		-10.4%
セグメント利益	60	42	-18	+4	-30.1%
セグメント利益率	9.6%	6.3%			

*プロジェクターの販売動向指標は補足資料に掲載

・ビジュアル&ライフスタイルは、前年同期に対して増収。部材費や輸送費の上昇や、ビジュアルプロダクツのミックス変動や在庫変動に伴う利益マイナス影響により減益

・ビジュアルプロダクツ:教育案件の獲得やFIFAワールドカップ特需により販売が増加
 ・ウェアラブルプロダクツ:海外や国内向けの需要が増加
 ・PC:前年のOSサポート終了時の特需からの反動減



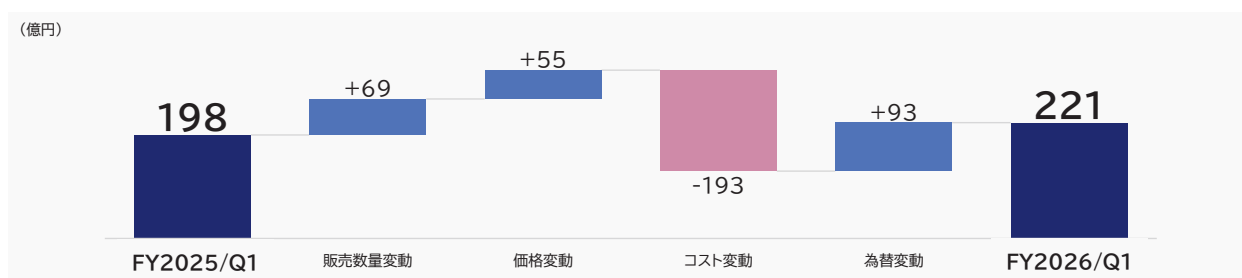
© SEIKO EPSON CORPORATION 2026

8

- ビジュアル&ライフスタイルの売上収益は、前年同期に対して 45億円増収の 672億円となりました。
- ビジュアルプロダクツは、教育案件の獲得やFIFAワールドカップ特需により販売が増加しました。
- ウェアラブルプロダクツは、海外向けや国内向けの需要が増加し、販売を伸ばしました。
- PCは、前年はOSサポート終了に伴う特需がありました。
- セグメント利益は、部材費や輸送費の上昇に加え、ビジュアルプロダクツのミックス変動や在庫変動に伴う利益マイナス影響などにより、18億円減益の 42億円となりました。
- 社内計画に対しては、売上収益・セグメント利益ともに上回りました。

旺盛な需要に対応した一方で、メモリなどの部材費高騰が顕在化

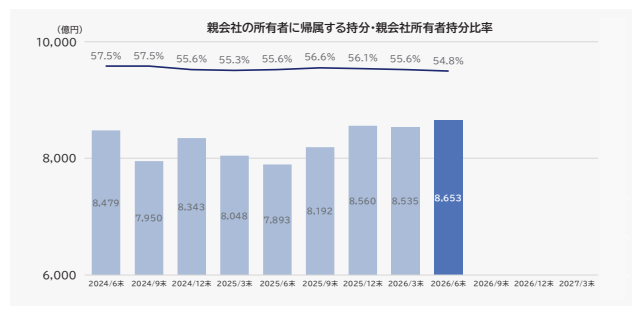
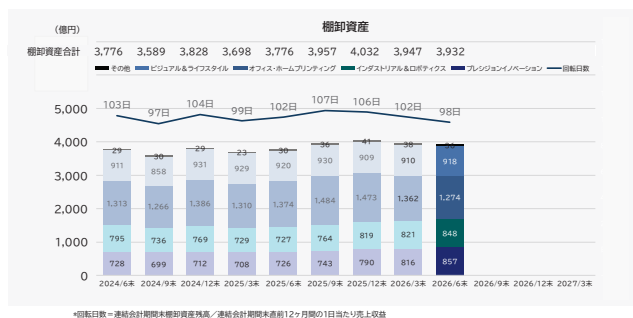
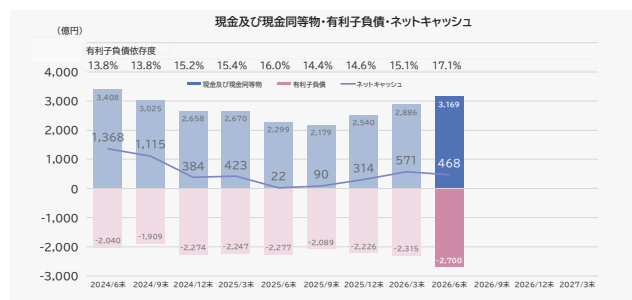
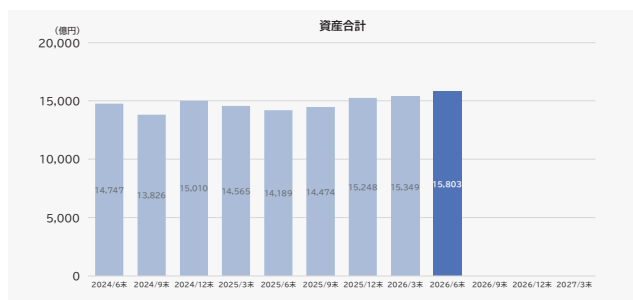
- 販売数量 : インクジェットソリューションズやマイクロデバイスを中心にプラス影響
- 価格 : 部材費高騰への対応としてオフィス・ホームプリンティングや商業・産業プリンティングを中心に販売価格に反映
- コスト : メモリなどの部材費高騰、米国関税費用増加、在庫増減影響



© SEIKO EPSON CORPORATION 2026

9

- 第1四半期の事業利益の変動要因をご説明します。
- 旺盛な需要に対応した一方で、メモリなどの部材費高騰が顕在化しました。
- 販売数量は、インクジェットソリューションズやマイクロデバイスを中心にプラスとなりました。
- 価格は、オフィス・ホームプリンティングや商業・産業プリンティングを中心に部材費高騰に対応したことで、プラスとなりました。
- コストは、メモリなどの部材費高騰や米国関税費用増加、在庫増減影響などによりマイナスとなりました。



➤ 財政状態計算書の主要項目はご覧の通りです。

2026年度第1四半期実績

2026年度通期業績予想・株主還元



- 続きまして、2026年度の業績予想ならびに株主還元についてご説明します。

(億円)	2025年度		2026年度				増減額／増減率	
	実績	%	5/1予想	%	8/5予想	%	対前期	対 5/1予想
売上収益	14,133		14,500		15,100		+967 +6.8%	+600 +4.1%
事業利益	838	5.9%	900	6.2%	1,050	7.0%	+212 +25.3%	+150 +16.7%
営業利益	496	3.5%	860	5.9%	1,010	6.7%	+514 +103.8%	+150 +17.4%
税引前利益	500	3.5%	840	5.8%	990	6.6%	+490 +97.9%	+150 +17.9%
親会社の所有者に帰属する当期利益	182	1.3%	590	4.1%	690	4.6%	+508 +279.1%	+100 +16.9%
EPS*1(円)	56.81		184.13		215.34			
為替レート (円、指数)	USD	¥150.69	¥151.00		¥156.00			
	EUR	¥174.74	¥175.00		¥178.00			
	その他通貨*2	-	100		104			

- 売上収益
 - ✓ プレシジョンイノベーションを中心に各セグメントで業績予想を上方修正
- 事業利益
 - ✓ 部材費や輸送費の上昇影響を受ける一方、価格対応や米国関税還付を見込む
- 営業利益以下
 - ✓ 前回から大きな前提の変化なし

*1 EPS：基本的1株当たり当期利益
 *2 その他通貨について、当期と前期レートでの円換算合計金額を比較し、前年同期を100として指数で表示
 *3 USD/EURは1円の円高による年間影響額(億円)、その他通貨は1%の円高による年間影響額(億円)

為替感応度*3	USD	EUR	その他通貨	年間為替影響額
売上収益	-32	-13	-50	+380
事業利益	+10	-9	-33	+80

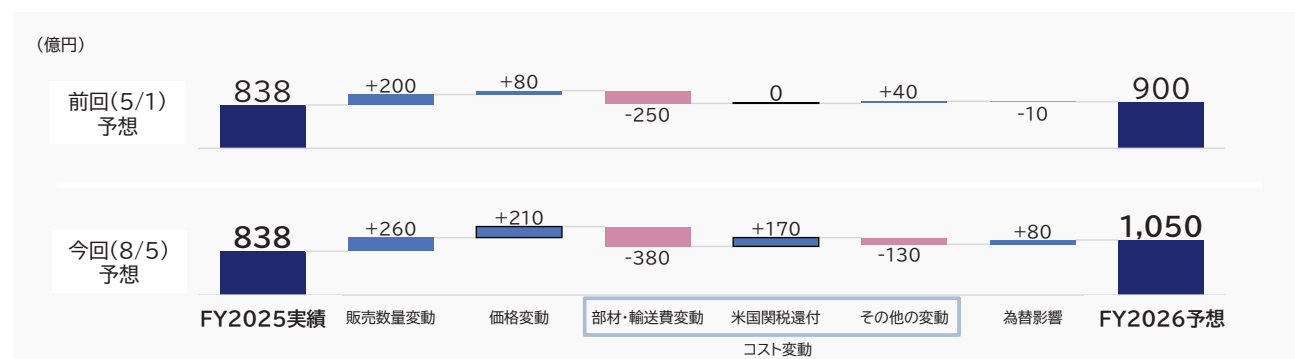
第2四半期以降の 為替前提(円)	USD	155.00
	EUR	176.00

© SEIKO EPSON CORPORATION 2026 12

- 2026年度の通期業績予想はご覧の通りです。
- 売上収益は、前回予想から600億円上方修正の1兆5,100億円、
- 事業利益は、150億円上方修正の1,050億円を予想します。
- 売上収益は、プレシジョンイノベーションを中心に各セグメントで業績予想を上方修正します。
- 事業利益は、部材費や輸送費の上昇影響を受ける一方、価格対応や米国関税還付を見込みます。
- 営業利益以下は、前回から大きな前提の変化はありません。

前回予想からの主な変化

- 販売数量 : インクジェットソリューションズやマイクロデバイスなどで販売増加を見込む
- 価格 : 原油価格高騰・メモリ価格影響に対応
- 部材・輸送費 : 原油価格高騰・メモリ価格影響を反映
- 米国関税還付 : 約170億円織り込む
- その他 : 固定費の増加や在庫変動に伴う利益マイナス影響を見込む



© SEIKO EPSON CORPORATION 2026 13

- 事業利益の増減要因の、前回予想からの変化をご説明します。
- 販売数量は、インクジェットソリューションズやマイクロデバイスなどで販売増加を見込みました。
- 価格は、原油価格高騰影響・メモリ価格影響への対応を織り込みました。
- 部材・輸送費については、原油価格高騰やメモリ価格影響などを反映しました。
- 米国関税還付は、約170億円を織り込みました。
- その他は、固定費の増加や在庫変動に伴う利益マイナス影響を反映しました。

プレジジョンイノベーション	2025年度 実績	2026年度 5/1 予想	2026年度 8/5 予想	対前期 増減額	対前期 増減率	(億円) 対5/1 予想	- プレジジョンイノベーションは、引き続き旺盛な需要が見込まれ、売上収益・セグメント利益ともに業績予想を上方修正 - インクジェットソリューションズ：中国での回復に加え、他地域での需要拡大を織り込む - マイクロデバイス：ネットワーク向けの販売を上方修正 - エプソンアトミックス：データセンターやスマホ・車載向け電子部品の需要増加を見込む
売上収益	1,675	1,820	1,950	+275	+16.4%	+130	
インクジェットソリューションズ	628	700	740	+112	+17.9%	+40	
マイクロデバイス	920	990	1,070	+150	+16.4%	+80	
エプソンアトミックス	156	170	190	+34	+21.9%	+20	
事業間売上収益	-28	-40	-50	-	-	-	
セグメント利益	440	500	550	+110	+24.9%	+50	
セグメント利益率	26.3%	27.5%	28.2%				

- ・プレジジョンイノベーションは、引き続き旺盛な需要が見込まれ、売上収益・セグメント利益ともに業績予想を上方修正
- ・インクジェットソリューションズ：中国での回復に加え、他地域での需要拡大を織り込む
- ・マイクロデバイス：ネットワーク向けの販売を上方修正
- ・エプソンアトミックス：データセンターやスマホ・車載向け電子部品の需要増加を見込む

- 続いて、セグメント別にご説明します。
- プレジジョンイノベーションは、引き続き旺盛な需要が見込まれ、売上収益・セグメント利益ともに業績予想を上方修正します。
- インクジェットソリューションズは、中国での回復に加え、他の地域での需要拡大を織り込みます。
- マイクロデバイスは、ネットワーク向けの水晶デバイスの販売を中心に上方修正します。
- エプソンアトミックスは、データセンターやスマホ・車載向け電子部品の需要増加を見込みます。

インダストリアル＆ロボティクス	2025年度 実績	2026年度 5/1 予想	2026年度 8/5 予想	対前期 増減額	対前期 増減率	(億円) 対5/1 予想
売上収益	2,978	3,100	3,250	+272	+9.1%	+150
商業・産業プリンティング	2,743	2,840	2,960	+217	+7.9%	+120
ロボティクス	235	260	290	+55	+23.3%	+30
セグメント利益	202	240	310	+108	+53.4%	+70
セグメント利益率	6.8%	7.7%	9.5%			

- ・インダストリアル＆ロボティクスは、需要の見直しに大きな変更はないものの、為替前提の見直しや米国関税還付を反映し、売上収益・セグメント利益を上方修正
- ・商業・産業プリンティング：完成品は前回予想から大きな変更なく、小型プリンターなどで販売見直しを上方修正
- ・ロボティクス：競争力を強化した新製品で機会を逃さず着実な案件獲得を目指す

- ・インダストリアル&ロボティクスは、需要の見通しに大きな変更はないものの、為替前提の見直しや米国関税還付を反映し、売上収益・セグメント利益を上方修正
- ・商業・産業プリンティング:完成品は前回予想から大きな変更なく、小型プリンターなどで販売見直しを上方修正
- ・ロボティクス:競争力を強化した新製品で機会を逃さず着実な案件獲得を目指す

- インダストリアル&ロボティクスは、需要の見通しに大きな変更はないものの、為替前提の見直しや米国関税還付を反映し、売上収益・セグメント利益ともに業績予想を上方修正します。
- 商業・産業プリンティングの大判プリンターなどの完成品は、前回予想から大きな変更はないものの、小型プリンターなどで販売見直しを上方修正します。
- ロボティクスは、競争力を強化した新製品で機会を逃さず着実な案件獲得を目指します。

(億円)						
オフィス・ホームプリンティング	2025年度 実績	2026年度 5/1 予想	2026年度 8/5 予想	対前期 増減額	対前期 増減率	対5/1 予想
売上収益	6,925	6,980	7,120	+195	+2.8%	+140
SOHO・ホーム ^{*1}	5,495	5,410	5,520	+25	+0.5%	+110
オフィス共有 ^{*2}	888	1,060	1,080	+192	+21.6%	+20
オフィス・ホームその他 ^{*3}	543	510	520	-23	-4.3%	+10
セグメント利益	612	560	580	-32	-5.2%	+20
セグメント利益率	8.8%	8.0%	8.1%			

^{*1} I/Cモデル・大容量インクタンクモデル本体、インクなど ^{*2} オフィス向けI/Cモデル・RIPS-LJ本体、インクなど ^{*3} スキャナー、LP、小型ラベルプリンターなど

SOHOホーム&オフィス共有販売動向 ^{*4}	2025年度 実績	2026年度 5/1 予想	2026年度 8/5 予想
本体販売台数 (約、万台)	1,710	1,720	1,720
内 大容量インクタンクモデル	1,370	1,410	1,410
内 インクカートリッジモデル	305	270	270
内 オフィス共有	35	40	40
インク売上収益伸長率 (円貨)	+0%	-3%	+1%
(現地通貨)	-1%		

^{*4} 社内管理値に基づく指標

- ・ オフィス・ホームプリンティングは、原油価格高騰による部材費や輸送費の上昇影響を受けるものの、為替前提の見直しや米国関税還付のプラス影響により、概ね前回予想並み
- ・ オフィス・ホームIJPの本体台数は前回予想から変更なし
- ・ インクの売上収益は前回予想から大きな変更なく、安定的な推移を見込む

- オフィス・ホームプリンティングは、原油価格高騰による部材費や輸送費の上昇影響を受けるものの、為替前提の見直しや米国関税還付のプラス影響により、概ね前回予想並みとなります。
- 需要に大きな変化はなく、オフィス・ホームIJPの本体台数・インクの売上収益は前回予想から大きな変更はありません。
- なお、第1四半期では部品調達における問題の影響を受けましたが、既に正常化しており通期の販売に大きな影響はありません。
- 引き続き大容量インクタンクモデルの拡販を進めます。

						(億円)
ビジュアル&ライフスタイル	2025年度 実績	2026年度 5/1 予想	2026年度 8/5 予想	対前期 増減額	対前期 増減率	対5/1 予想
売上収益	2,509	2,520	2,710	+201	+8.0%	+190
ビジュアルプロダクツ	1,814	1,860	1,940	+126	+7.0%	+80
ウェアラブルプロダクツ	411	420	470	+59	+14.4%	+50
PC	284	240	300	+16	+5.7%	+60
セグメント利益	169	200	220	+51	+30.0%	+20
セグメント利益率	6.7%	7.9%	8.1%			

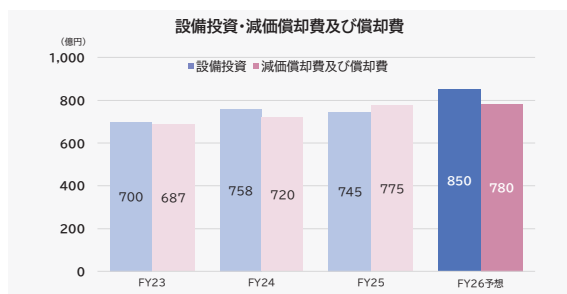
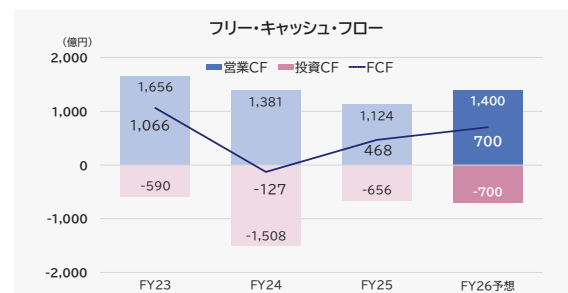
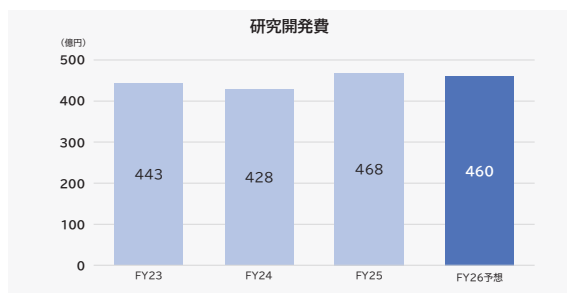
・ビジュアル&ライフスタイルは、部材費や輸送費の上昇影響を受けるものの、為替前提の見直しや米国関税還付のプラス影響により、売上収益・セグメント利益は上方修正

・ビジュアルプロダクツ: プロジェクターの販売台数は前回予想から変更なし
 ・ウェアラブルプロダクツ: 需要増により上方修正
 ・PC: メモリなどの高騰影響を見直し、価格対応を見込む

プロジェクター販売動向*	2025年度 実績	2026年度 5/1 予想	2026年度 8/5 予想
本体販売台数 (約、万台)	130	130	130

* 社内管理値に基づく指標

- ビジュアル&ライフスタイルは、部材費や輸送費の上昇影響を受けるものの、為替前提の見直しや米国関税還付のプラス影響により、売上収益・セグメント利益は上方修正します。
- ビジュアルプロダクツのプロジェクターの販売台数は、前回予想から変更ありません。
- ウェアラブルプロダクツは、需要増により上方修正します。
- PCは、メモリなどの高騰影響を見直し、同時に価格対応を見込みます。



主要経営指標

	2023年度 実績	2024年度 実績	2025年度 実績	2026年度 予想	2028年度 中期目標
為替レート:USD/円	144.44	152.47	150.69	156.00	150.00
為替レート:EUR/円	156.66	163.64	174.74	178.00	170.00
売上収益 (億円)	13,140	13,629	14,133	15,100	15,000
事業利益 (億円)	647	896	838	1,050	-
親会社の所有者に帰属する 当期利益 (億円)	526	552	182	690	-
ROS ^{*1}	4.9%	6.6%	5.9%	7.0%	8.0%
ROA ^{*2}	4.7%	6.2%	5.6%	6.8%	-
ROE ^{*3}	6.8%	6.8%	2.2%	8.1%	10.0%
ROIC ^{*4}	4.6%	6.1%	5.5%	6.8%	8.0%

*1 売上収益/事業利益比率＝事業利益/売上収益
 *2 資産合計/売上収益比率＝事業利益/資産合計
 *3 親会社の所有者に帰属する当期利益/親会社の株主資本に帰属する当期利益
 *4 親会社の所有者に帰属する当期利益/親会社の投資資本に帰属する当期利益

- 主要費用、主要経営指標はご覧のとおりです。
- 研究開発費ならびに設備投資・減価償却費及び償却費は前回予想から変更ありません。
- フリー・キャッシュ・フローは、主に米国関税還付を見込むことで、前回予想の500億円から700億円へ変更します。

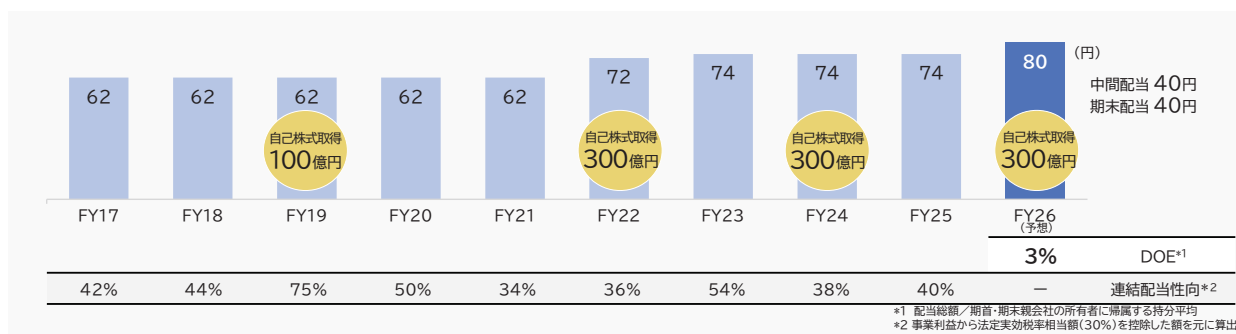
基本方針

成長戦略に基づく投資を行ったうえで、積極的な利益還元に取り組む

- 配当 : DOE*1 3%を下限とする安定配当を実施
- 自己株式取得 : 株価水準や資金の状況などを総合的に勘案し、機動的に実施

配当2026年度は6円増配、1株当たり年間配当 **80円**を予想**自己株式取得**2026年度に**300億円**を上限とする自己株式取得を実施

- 取得期間 : 2026年8月7日～2027年3月31日
- 今回新たに取得する自己株式は、全株式を消却する方針



© SEIKO EPSON CORPORATION 2026

19

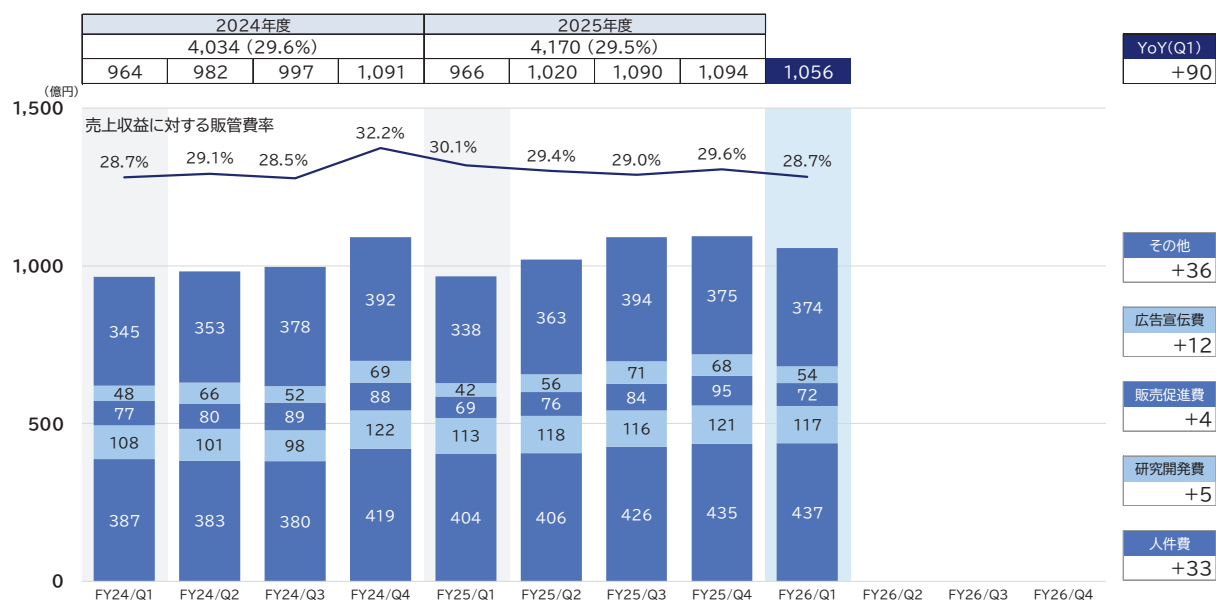
- 最後に、株主還元についてご説明します。
- エプソンは、長期ビジョン「ENGINEERED FUTURE 2035」の実現に向けて、財務健全性を維持しつつ、ROICを軸とした資本最適配分によって成長と資本効率改善を図るとともに、成長投資と株主還元を両立させるという方針です。
- 2026年度の配当は、前回予想から変わらず、前年度より6円増配の1株当たり年間80円を予想します。
- また、中期経営計画Phase 1の3年間で累計800億円の自己株式取得を予定していますが、本日のリリースの通り、300億円を上限とする取得を実施します。
- なお、今回新たに取得する自己株式は、全株式を消却する方向で検討します。
- 世界経済の不確実性が増す中ではありますが、通期業績予想の達成に向けて着実に取り組みを進めてまいります。

EPSON

補足資料

社内管理値に基づく指標 伸長率は前年同期比		2025年度 Q1 実績	2025年度 Q2 実績	2025年度 Q3 実績	2025年度 Q4 実績	2025年度 通期 実績	2026年度 Q1 実績	2026年度 Q2	2026年度 Q3	2026年度 Q4	2026年度 通期 予想
為替レート	USD	144.49	147.43	154.09	156.75	150.69	159.38				156.00
	EUR	163.76	172.30	179.33	183.57	174.74	185.33				178.00
SOHO・ホーム&オフィス共有本体売上収益	伸長率(円貨)	-4%	+2%	+4%	+16%	+5%	+12%				+5%
	伸長率(現地通貨)	+3%	+2%	+0%	+9%	+4%	+1%				
SOHO・ホーム&オフィス共有本体販売台数(合計)	伸長率	+1%	+1%	+0%	+11%	+3%	-0%				+1%
	約、万台					1,710					1,720
SOHO・ホーム向け大容量インクタンクモデル	約、万台					1,370					1,410
	約、万台					305					270
SOHO・ホーム向けI/Cモデル	約、万台					35					40
	約、万台										
SOHO・ホーム&オフィス共有インク売上収益	インク比率*					36%					35%
	伸長率(円貨)	-11%	+1%	+4%	+7%	+0%	+16%				+1%
	伸長率(現地通貨)	-6%	+0%	+1%	+1%	-1%	+6%				
プロジェクター本体売上収益	伸長率(円貨)	-18%	-15%	-7%	-2%	-11%	+7%				+7%
	伸長率(現地通貨)	-13%	-15%	-10%	-8%	-12%	-4%				
プロジェクター本体販売数量	伸長率	-22%	-22%	-10%	-11%	-17%	+5%				+0%
	約、万台					130					130

*インク比率:インク売上収益/(本体売上収益+インク売上収益)



© SEIKO EPSON CORPORATION 2026

23

➤ 販売費及び一般管理費推移は、グラフの通りです。

		2025年度 Q1 実績	2025年度 Q2 実績	2025年度 Q3 実績	2025年度 Q4 実績	2025年度 通期 実績	2026年度 Q1 実績	2026年度 Q2	2026年度 Q3	2026年度 Q4	(億円) 2026年度 通期 予想
為替レート	USD	144.49	147.43	154.09	156.75	150.69	159.38				156.00
	EUR	163.76	172.30	179.33	183.57	174.74	185.33				178.00
プレジジョンイノベーション	売上収益	403	408	425	439	1,675	498				1,950
	セグメント利益	96	112	112	120	440	155				550
インダストリアル&ロボティクス	売上収益	696	738	778	767	2,978	820				3,250
	セグメント利益	38	46	79	39	202	55				310
オフィス・ホームプリンティング	売上収益	1,488	1,675	1,894	1,869	6,925	1,670				7,120
	セグメント利益	146	120	169	177	612	114				580
ビジュアル&ライフスタイル	売上収益	627	632	645	605	2,509	672				2,710
	セグメント利益	60	57	42	10	169	42				220
調整額	売上収益	-5	13	22	15	45	12				70
全社費用・その他・セグメント間消去	セグメント利益	-143	-158	-138	-147	-586	-145				-610
	売上収益	3,209	3,465	3,765	3,694	14,133	3,672				15,100
	事業利益	198	177	264	200	838	221				1,050
連結合計	ROS	6.2%	5.1%	7.0%	5.4%	5.9%	6.0%				7.0%
研究開発費	連結合計	113	118	116	121	468	117				460
設備投資	プレジジョンイノベーション	29	42	34	40	144	27				330
	インダストリアル&ロボティクス	19	32	25	50	125	15				100
	ビジュアルコミュニケーション	48	45	70	117	281	68				240
	オフィス・ホームプリンティング	17	21	22	36	95	22				100
	全社費用・その他	47	9	17	27	100	17				80
	連結合計	159	149	167	270	745	150				850
減価償却費及び償却費	プレジジョンイノベーション	42	43	44	43	172	46				190
	インダストリアル&ロボティクス	41	41	41	42	165	41				160
	ビジュアルコミュニケーション	59	61	60	60	240	59				230
	オフィス・ホームプリンティング	27	27	28	29	111	29				110
	全社費用・その他	21	22	22	22	87	22				90
	連結合計	190	194	195	197	775	196				780
営業CF		32	210	379	503	1,124	199				1,400
FCF		-189	63	284	310	468	41				700
ROIC(%)						5.5%					6.8%

地域別売上収益

売上収益(億円)	FY24/Q1	FY24/Q2	FY24/Q3	FY24/Q4	FY25/Q1	FY25/Q2	FY25/Q3	FY25/Q4	FY26/Q1	FY26/Q2	FY26/Q3	FY26/Q4
日本	520	544	610	586	544	579	626	571	567			
米州	1,146	1,066	1,066	1,115	1,088	1,116	1,170	1,207	1,257			
欧州・中東・アフリカ	680	748	781	781	640	748	880	867	744			
アジア・オセアニア	1,021	1,018	1,039	909	937	1,022	1,090	1,049	1,104			
連結合計	3,366	3,376	3,496	3,391	3,209	3,465	3,765	3,694	3,672			

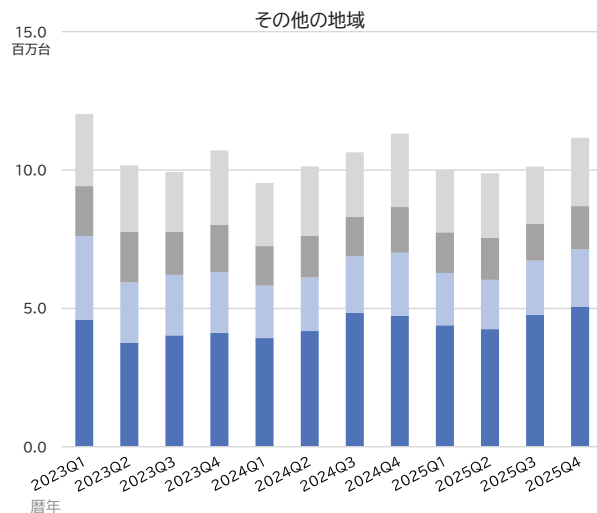
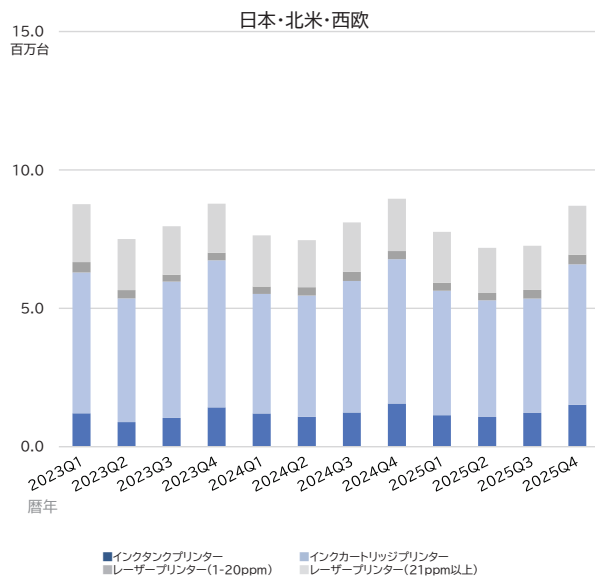
構成比	FY24/Q1	FY24/Q2	FY24/Q3	FY24/Q4	FY25/Q1	FY25/Q2	FY25/Q3	FY25/Q4	FY26/Q1	FY26/Q2	FY26/Q3	FY26/Q4
日本	15.4%	16.1%	17.4%	17.3%	17.0%	16.7%	16.6%	15.5%	15.4%			
米州	34.0%	31.6%	30.5%	32.9%	33.9%	32.2%	31.1%	32.7%	34.2%			
欧州・中東・アフリカ	20.2%	22.2%	22.4%	23.0%	19.9%	21.6%	23.4%	23.5%	20.3%			
アジア・オセアニア	30.3%	30.2%	29.7%	26.8%	29.2%	29.5%	28.9%	28.4%	30.1%			

従業員数

期末従業員数(人)	2024/6末	2024/9末	2024/12末	2025/3末	2025/6末	2025/9末	2025/12末	2026/3末	2026/6末	2026/9末	2026/12末	2027/3末
国内	20,702	20,672	20,439	19,924	20,324	20,137	20,008	19,504	19,724			
海外	56,969	57,889	56,808	55,428	55,308	56,025	55,354	55,115	56,307			
連結合計	77,671	78,561	77,247	75,352	75,632	76,162	75,362	74,619	76,031			

A4サイズプリンターのタイプ別市場推移

EPSON



Source: IDC Worldwide Quarterly Hardcopy Peripherals Tracker 2025Q4
プリンターには複合機を含む。本資料からの転載を禁止します

© SEIKO EPSON CORPORATION 2026

26

セグメント	プレジジョンイノベーション	インダストリアル&ロボティクス	オフィス・ホームプリンティング	ビジュアル&ライフスタイル
事業 ・ 主要製品	インクジェットソリューションズ  プリントヘッド	商業・産業プリンティング 完成品  フォト  コーポレート  サイネージ  ラベルプリンター  テキスタイル  ラベル印刷機 Fiery 商業・産業その他  小型プリンター  SIDM  PaperLab	オフィス・ホームIJP SOHO・ホーム  大容量インクタンクモデル  インクカードリッジモデル オフィス共有  大容量インクパックモデル (RIPS)  高速ラインインクジェット複合機 (LII) オフィス向けインクカードリッジモデル オフィス・ホームその他  スキャナー  小型ラベルプリンター	ビジュアルプロダクツ  高光束  超短焦点  スタンダード  ホーム・スマート ウェアラブルプロダクツ  Orient Star  Orient  ムーブメント  セイコービジネス PC  エコアドバンスPC 
	マイクロデバイス 水晶デバイス  タイミングデバイス  センシングデバイス 半導体 	ロボティクス  スカラ  6軸  ソフト・オプション		
	エプソンアトミックス  微細合金粉末			

ESG
インデックス
組み入れ・
格付け

- FTSE4Good Index Series
- FTSE JPX Blossom Japan Index
- FTSE JPX Blossom Japan Sector Relative Index
- MSCI日本株ESGセレクト・リーダーズ指数
- MSCI日本株女性活躍指数（WIN）
- S&P/JPXカーボン・エフィシエント指数
- Morningstar Japan ex-REIT Gender Diversity Tilt Index
- SOMPOサステナビリティ・インデックス
- ISS ESGのESG コーポレートレーティング評価「プライム」
- CDP企業調査2025「A」リスト企業（分野：水セキュリティ）
- 日本政策投資銀行（DBJ）環境格付け融資「ランクA」
- MSCI ESG レーティング「AAA」
- EcoVadis社のサステナビリティ評価「プラチナ」

ESG
関連表彰・
銘柄選定
など

- 海外主力工場でRBA^{*1}監査の最高位プラチナ認証取得（インドネシア、タイ、中国）
- IAM「2025 アジア知財エリート（The 2025 Asia IP Elite）」：2025年11月
- 「Clarivate Top 100 グローバル・イノベーター2026」：2026年1月
- 第34回地球環境大賞「経済産業大臣賞」：2026年3月
- 「健康経営優良法人（ホワイト500）」^{*2}：2026年3月
- 令和8年度全国発明表彰「WIPO賞」：2026年6月
- 日経225：2017年から選定

GPIFが採用する
ESG国内指数6件全てに選定



FTSE JPX Blossom
Japan Index



FTSE JPX Blossom
Japan Sector
Relative Index

2026 CONSTITUENT MSCI日本株
ESGセレクト・リーダーズ指数

2026 CONSTITUENT MSCI日本株
女性活躍指数（WIN）



S&P/JPX
カーボン
エフィシエント
指数

^{*1} The Responsible Business Alliance、世界最大級のCSR推進企業同盟

^{*2} 健康経営の目的・体制
<https://corporate.epson/ja/sustainability/our-people/health-and-productivity.html>

投資家情報



- IRライブラリ
 - ✓ 経営・事業戦略説明会 <https://corporate.epson/ja/investors/publications/presentations.html>
 - ✓ 統合レポート <https://corporate.epson/ja/investors/publications/integrated-report.html>
 - 5分で分かるエプソン <https://corporate.epson/ja/investors/overview/>
 - 株主還元 <https://corporate.epson/ja/investors/information/stock-dividends.html>
-
- パーパス <https://corporate.epson/ja/philosophy/purpose/>
 - 長期ビジョン <https://corporate.epson/ja/philosophy/vision/>

サステナビリティ



- サステナビリティ経営 <https://corporate.epson/ja/sustainability/initiatives/>
- 環境 <https://corporate.epson/ja/sustainability/environment/>
- 人材 <https://corporate.epson/ja/sustainability/our-people/>
- ESGデータ <https://corporate.epson/ja/sustainability/esg-data/>

独自製法による金属粉末・金属射出成形品と、水晶デバイス用人工水晶原石を製造

金属粉末事業

- 高性能金属粉末の製造
- 独自のアトマイズ製法により、超微細粉末の大量生産が可能



金属粉末

自動車の
電装部品原材料SMD
インダクタ

金属射出成形事業

- 自社の金属粉末で、複雑形状や高密度の部品を製造
- 原料の金属粉末製造から金属射出成形までの一貫体制



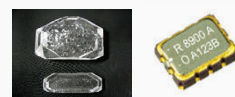
成形用ペレット

プリンター部品

歯列矯正部品

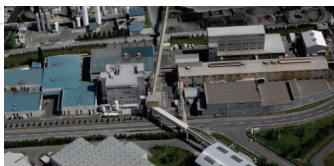
人工水晶事業

- 高品質人工水晶原石を製造



人工水晶

タイミングデバイス



本社：青森県八戸市大字河原木字海岸



北インター事業所：青森県八戸市北インター工業団地



北インター第二事業所：青森県八戸市北インター工業団地

I/C	Ink Cartridge, インクカートリッジ
IJP	Inkjet Printer, インクジェットプリンター
LIJ	Line Inkjet Printer, ラインインクジェット複合機
LP	Laser Printer, レーザープリンター(複合機含む)
RIPS	Replaceable Ink Pack System, 大容量インクパックモデル
大容量インクタンクモデル	エコタンク搭載インクジェットプリンター
大容量インクモデル	大容量インクタンクモデル、大容量インクパックモデル(RIPS)、高速ラインインクジェット(LIJ)の総称
SOHO	Small Office Home Office, 小規模オフィス・ホームオフィス
オフィス共有	製品カテゴリーの1つ。高プリントボリュームオフィス向けプリンター。I/Cモデル,RIPS,LIJを含む
Epson Connect	エプソンの製品・サービスを対象としたモバイル・クラウドサービス
Color Control Technology	商業・産業印刷における色再現性を高めるカラーマネジメント技術
分散印刷	同一内容の印刷データを複数のプリンターを用いて印刷する方法
SIDM	Serial Impact Dot Matrix Printer
3LCD	プロジェクター方式の1つ。液晶パネル3枚を使う方式
高光束プロジェクター	交換レンズ機能付き高輝度プロジェクター
スマートプロジェクター	500lm以上で、独立してネットワーク接続が可能かつ動画配信サービスなどが利用可能なプロジェクター
FPD	Flat Panel Display, フラットパネルディスプレイ
MEMS	Micro Electro Mechanical Systems。一つのシリコン基板、ガラス基板、有機材料などの上に、サブミクロンレベルの精度で機械要素部品やセンサー、アクチュエーター、電子回路などを集積化する技術
TCXO	温度補償型水晶発振器。周波数の安定度を高めるために、温度補償回路を設けた水晶発振器
RTC	リアルタイムクロックモジュール。水晶振動子とICを一体化し、日時データを生成するデバイス
産業領域	インクジェットソリューションズ、マイクロデバイス、エプソンアトミックス、ロボティクス、商業・産業プリンティングを含む事業領域

将来見通しに係わる記述についての注意事項

- 本説明資料に記載されている将来の業績に関する見通しは、公表時点で入手可能な情報に基づく将来の予測であり、潜在的なリスクや不確定要素を含んだものです。そのため、実際の業績はさまざまな要素により、記載された見通しと大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。実際の業績に影響を与えうる要素としては、日本および海外の経済情勢、市場におけるエプソンの新製品・新サービスの開発・提供とそれらに対する需要の動向、価格競争を含む他社との競合、テクノロジーの変化、為替の変動などが含まれます。なお、業績などに影響を与えうる要素は、これらに限定されるものではありません。

事業利益について

- 事業利益は、売上収益から 売上原価、販売費及び一般管理費を控除して算出しています。連結包括利益計算書上に定義されていない指標であるものの、日本基準の営業利益とほぼ同じ概念であることから、連結財務諸表の利用者がエプソンの業績を評価する上でも有用な情報であると判断し、追加的に開示しています。

本説明資料における表示方法

- 数値：表示単位の一桁下位を四捨五入
- 比率：円単位で計算後、表示単位の一桁下位を四捨五入
- 年度：断りが無い限り、会計年度を示す

EPSON